

子ども会議

新しい町の魅力を考えて 白鷹町をもっと有名にしよう



12月15日、子ども会議が開催され、町内の小中高校の代表22人が参加し、「新しい町の魅力を考えて白鷹町をもっと有名にしよう」をテーマにワークショップを行いました。四つの班に別れ、町にある自慢できる名物や場所、有名人等を出し合いました。桜や紅花、鮎、そば、深山和紙など、たくさん町の魅力が出されました。

その後、今ある魅力のあるものを組み合わせ、新しい町の魅力を考える作業に移りました。新しいイベントを考えたり、町のキャラクター（ゆるキャラ）や名物を考えました。

青少年育成町民会議（梅津晶一会長）と教育委員会の共催で今回が第4回となります。



子ども会議に参加した皆さん

1班
 大山 純太（蚕桑小）
 赤間宏史郎（鮎貝小）
 安部 央華（荒砥小）
 紺野 日和（鷹山小）
 小形あゆみ（東根小）

2班
 金田 魁人（蚕桑小）
 芳賀美優花（鮎貝小）
 中嶋 遥人（荒砥小）
 小関 漢司（鷹山小）
 齋藤 遥香（東根小）

3班
 齋藤 慈子（西中）
 紺野 蒼天（東中）
 新田 ゆい（東中）
 東海林史穂（荒砥高）
 寺島加奈子（荒砥高）
 小口 貴幸（荒砥高）

4班
 原田 航（西中）
 金田日菜子（西中）
 安部 貴洸（東中）
 佐竹 伸子（荒砥高）
 鈴木 伴浩（荒砥高）
 遠藤 帆夏（荒砥高）